

井原市 市民活動センター

つどえ〜る通信

《発行所》
 井原市市民活動センター
 715-0019 井原市井原町352-1
 TEL0866-62-9090 (FAX兼)
 www.ibara.ne.jp/~katudou/
 E-mail:katudou@ibara.ne.jp
 編集/NPO法人市民交流
 ネットワーク井原

興譲館の草創期解説

就実大の山田芳則教授

市民活動センター・つどえ〜るで八月二十一日、就実大学人文科学部総合歴史学科の山田芳則教授(写真下)による「興譲館と朗廬・警軒」と題した講演会が行われ、市民ら五十人が受講しました。

幕末激動期などの研究家として知られる山田教授は、興譲館の初代館長・阪谷朗廬と二代館長・草創期を詳解。優秀な人材輩出の根底に儒学(朱



子学)の教えがあったとの考えを示しました。

つどえ〜る
講演会

受講者の中には「歴史ある興譲館を井原の活性化に生かせないものか」と積極的な提案をする人もみられました。

【阪谷朗廬】1822年美星町生まれ。奥野小山、大塩平八郎に師事。

1853年に興譲館を創立し初代館長。馬越恭平ら多くの要人を輩出。渋沢栄一の次女と結婚した四男の芳郎は東京都知事・大蔵大臣を歴任。興譲館二代館長の坂田警軒は甥。1881年没。

「地球の万物は太陽の恵みを受けた奇跡の存在と思われている。しかし、光を受けなくても3〜5兆トンもの微生物が海底火山のエネルギー(水と熱)によって養われている」と述べ、地上の動植物だけでなく、地球内部の生物にも注目すべきとの理論を紹介しました。

NPO法人プラントは、四年前から天神山自治会と協力して、たたら製鉄の実演などを公開しています。

「地底に5兆トンの生物」

長沼氏招き講演会

NPO法人
プラント

つどえ〜る登録団体のNPO法人プラント(吉原正敏代表)が芳井公民館で十月二十三日、広島



大学大学院生物圏科学研究科の長沼毅准教授(写真左)を招き「深海生物のなぞ」と題した講演会を開きました。

長沼准教授は熱水噴出口周辺に生息するチューブワームと呼ばれる深海生物について「生きるための食べ物が必要としない不思議な生物がいる」と説明。

井高、地域活動へ参加

3年連続の交通安全パレード

井原町鬼まつり実行委員会主催の交通安全パレードが十月二十四日に行われ、雨模様にもかかわらず多くの見物人が祭りを楽しみました。



市の地域活性化イベント補助金を活用した井原町鬼まつり交通安全パレード



午後一時過ぎに手作りの絵ぶたや鏡獅子太鼓、鬼の集団が向町より出発。しかし、降り続く雨のため、中町の休憩所

井原町まちづくりの会(三宅秀治会長)を主体に三年連続実施となる本年度は、井原高校の生徒らが絵ぶた作りや地域ふれあい市を井原市社会福祉協議会駐車場で開催し、鬼まつりを盛り上げました。

利用分野広がる

文化協会洋画部が油絵教室

井原市文化協会洋画部(原田晋作部長)が八月二十八〜二十九日の二日間、つどえ〜る1階で油絵教室を開き、部員ら約三十人が参加しました。

今回はピオラを弾く女子大生がモデル。それぞれ筆を走らせながら、休憩時には作品の構図などについて語り合う姿も。

つどえ〜るでの油絵教室は初めて。関係者は「施設の利用分野が広がるのは良いことです」と話していました。

つどえ～る登録団体

[・印はNPO法人]

- 備中西商工会青年部美星支部
(代表 川上 直哉)
- ・まちづくり岡山ネットワーク
(代表 吉澤万千子)
- ・井原市福祉をよくする会
(代表 落合 清三)
- 櫛の杜塾
(代表 佐藤 清)
- 鳥羽踊り保存会
(代表 尾山 立志)
- ・プラント
(代表 吉原 正敏)
- 井原町まちづくりの会
(代表 三宅 秀治)
- 新現役の会井原支部
(代表 森 岑生)
- ・はっぴいひろばとまとさん家
(代表 川相 肇)
- ・井原はばたき会
(代表 中島 知子)
- 100万人のキャンドル
ナイトin井原駅実行委員会
(事務局 上田 勝義)
- 井原BBQ
(代表 細羽 宏子)
- 五味会
(代表 宮本 幸枝)
- ボランティアガイド井原
(代表 妙見迫有紀)
- 井原備中神楽保存会
(代表 森下規矩二)
- 倉掛自治連合会
(会長 倉橋 一郎)
- 岩崎おもちゃ病院
(代表 岩崎 勲)
- ・ビビット経ケ丸
(代表 鳥越恵治郎)
- 井原市文化協会洋画部
(部長 原田 晋作)
- ・市民交流ネットワーク井原
(代表 大坪 正廣)

緑のカーテンコンテスト

福井さん 井原町 に大賞

100万人のキャンドルナイト主催

住宅を覆うばかりに成長した鮮やかな緑のカーテンが通行人らの注目を集めました。井原市井原町夏目地内



地球温暖化防止やエコ運動を展開している10

0万人のキャンドルナイトin井原駅実行委員会主催の「緑のカーテンコンテスト」の表彰式が十月二十三日、つどえ～るで行われました。

本年度の緑のカーテン大賞には井原町の福井順子さんが選ばれ、同委員会の上田勝義事務局長から賞状と副賞(園芸土とプランター)が贈られました。

福井さんは「三月下旬にゴーヤーとミニトマトの種をまいて成長を楽しみました。植物も愛情を注ぐことが大切です。来年も挑戦したい」と笑顔で話していました。

11/20 まちづくり講座

笑顔あふれる井原

認知症 地域で支えよう

全国でおおよそ200万人の認知症の人が地域で安心して暮らすため、ご近所としてどのような支援ができるか、考えるきっかけになる講座です。

- とき 11月20日(土) 10:00~12:00
- 会場 井原市市民活動センター・つどえ～る
- 講師 ご近所クリエイター 酒井 保氏
- 演題 「認知症になっても安心して暮らせる～支え合いの地域づくり」

<講師プロフィール> 【対象】 井原市民
1961年広島生まれ。 【募集】 70人
ご近所クリエイター。主 【受講費】 無料
な著書「ボランティア・セ 【申込】 不要
ラピー」(中央法規出版) 【主催】 つどえ～る
「月刊住民流福祉」(住 62-9090
民流福祉総合研究所) 市社会福祉協議会
等。 62-1484
【後援】 井原放送株式会社

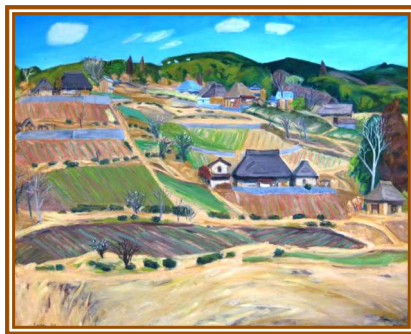
■とまとさん家が3周年

平成19年にオープンしたNPO法人はっぴいひろば・とまとさん家が11月11日(日)、3周年記念式典を行います。順調な自主運営に理事やボランティアの人たちは「これまで一貫して支えて下さっている地域の皆様のおかげ。これからも頑張りたい」とコメント。

■冬至のイベント

▽100万人のキャンドルナイトin井原駅・冬至
とき：12月18日(日)
「午後から井原駅前にかぼちゃ汁の無料サービスを行います。夜はローソクの明かりを楽しむイベントを開催しますので多数お越し下さい」

■倉橋英男作「山村風景」



つどえ～るに10月27日、故倉橋英男画伯の大作「山村風景」(100号)が掲示されました。芳井町明治地区を描いた昭和44年の作品。来館者は「おだやかで懐かしい風景に癒されるようです」と話しながら鑑賞しています。

つどえ～るご利用メモ

- 【1階】使用無料
交流コーナー・ミーティングコーナー・情報コーナー・インターネットコーナー・作業コーナー・パソコンコーナー・展示コーナー・育児ルーム兼ミニ会議室
注) コピー印刷等は実費要
注) 本施設は公益的事業以外の目的には使用できません。詳しくは事務局へ
注) 倉庫の使用はご遠慮願います
注) ゴミは各自お持ち帰り願います
- 【2階】有料会議室(机15・椅子30)
9:00~17:00 1時間 200円
17:00~21:00 1時間 300円
冷暖房は1時間 100円
- 【休館日】月曜日、祝日、年末年始
注) ただし月曜日が祝日の場合、翌日の火曜日は休館

